

自然と人の縁

郊外にある豊かな自然を活かした公園や、自然の家を含む施設をより多くの人に利用してほしいと考えた。自然を活かした施設や公園の魅力を、自然の家を含む自然豊かな公園と、人々が生活するエリアの縁に、現代のニーズに合わせ、自然とつながりを持つことのできるキャンプに関する美術館と図書館を建設し、人と自然の接点を計画した。「自然」と「人」との縁にそれらを繋ぐ建築を配置することで自然と触れ合う敷居を下げ、様々な人に自然の魅力を感じて貰い、既存の公園や施設の整備目的や魅力を後世に繋げる。

00. 導入

1 敷地

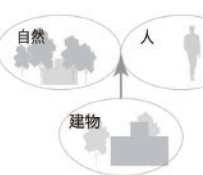


郡山市西部の達瀬町にある公園を敷地に選定した。豊かな自然や自然の家を含む、自然を活かした施設が多くある。

2 自然の家の現状



1970年代に公害などの環境問題や都市化に伴い、自然体験を通じた教育を目的に整備。整備から50年以上が経過し社会状況が変化中、高齢化や少子化、野外活動への意識の変化により、利用者が減少している。



自然の中にある自然の家と違い、その縁に建物を配置することによって自然に親しみやすくなる。人と自然を繋げ、自然の魅力が伝わる。

01. 敷地を読みとる



敷地の南側は自然豊かな山に囲まれる。北側は田園が広がり眺望が開け安達太良山や安積アルプスを望める。

02. 形状の操作

1 裏山と建物



山に沿い、裏山に誘うように配置する。

2 眺望と建物

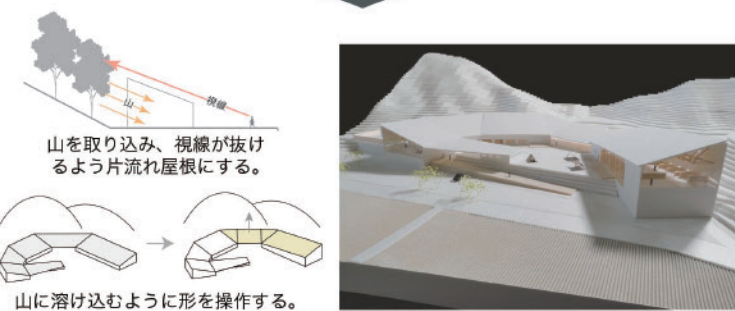


安達太良山、安積アルプスを望むように緩やかに曲げる。

3 裏山と屋根



屋根を各建物につなげる。建物と裏山に人々を誘う。

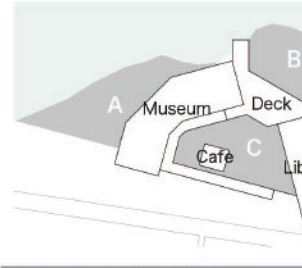


山を取り込み、視線が抜けるよう片流れ屋根にする。

山に沿って建物を配置する。

03. 展示空間

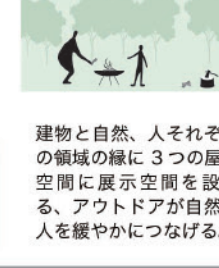
○自然とつながる展示空間



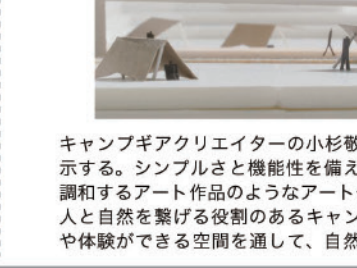
A 見る



B 使う

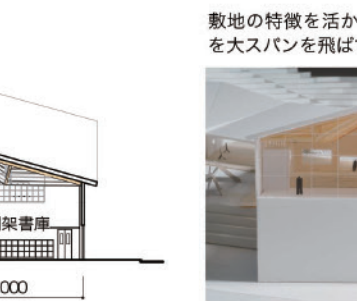
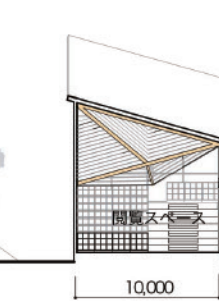
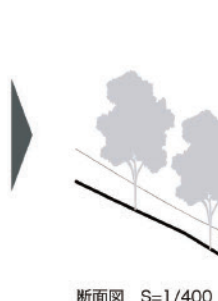
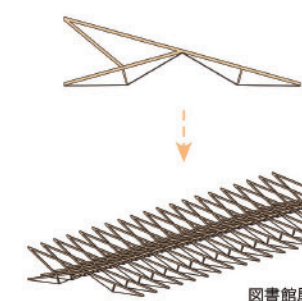


○自然と調和するキャンプ道具



キャンプギアクリエイターの小杉敬さんの作品を展示する。シンプルさと機能性を備えながらも自然と調和するアート作品のようなアート作品を創造する。人と自然を繋げる役割のあるキャンプに関する展示や体験ができる空間を通して、自然に親しみやすく

04. 図書館の架構



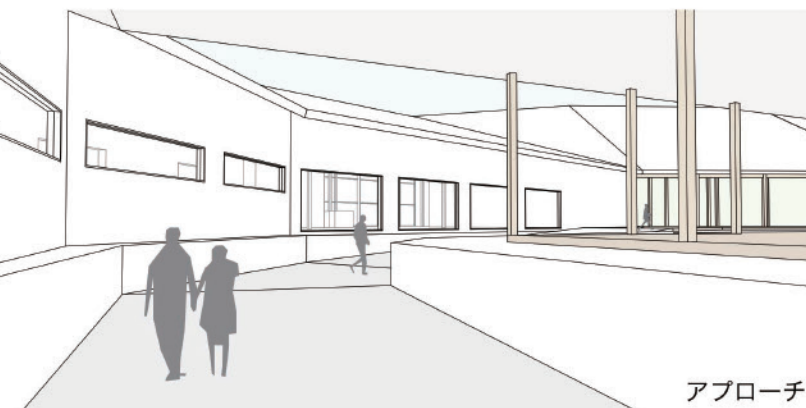
敷地の特徴を活かすため、開放的な空間を大スパンを飛ばすため張弦梁を架ける。

05. 配置図兼平面図 / パース

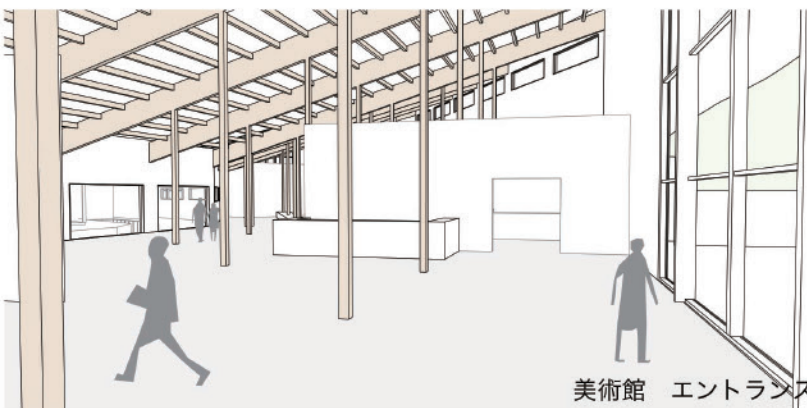


配置図兼1F平面図 S=1:300

2F平面図 S=1/300



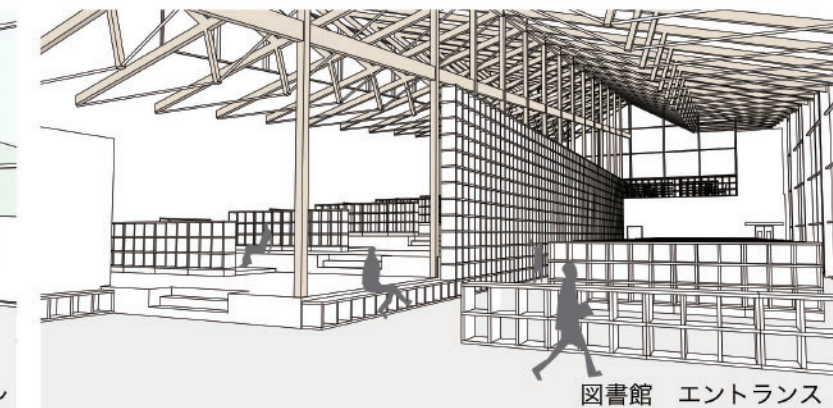
アプローチ



美術館 エントランス



美術館 ホール



図書館 エントランス